

当院で診療を受けられた患者さん・ご家族様へ
臨床研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究では、普段の診療で得られた情報を使用させていただくものです。この研究のために、新たに診察や検査などを行うことはありません。以下の情報を研究に用いられたいとお考えの患者さんまたはご家族の方は、10. お問合せ先まで遠慮なくお申し出ください。お申し出いただいた患者さんの情報は使用いたしません。また、研究への参加にご協力いただけない場合でも、患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

思春期特発性側弯症に対する後方矯正固定術後における IV-PCA を用いた術後疼痛管理
の有効性と安全性に関する後ろ向き観察研究

1. 対象となる患者さん

2020 年 3 月から 2024 年 7 月までに奈良県立医科大学附属病院において、思春期特発性側弯症（AIS）に対する後方矯正固定術を受け、術後疼痛管理として IV-PCA を使用された患者さん

2. 研究責任者

奈良県立医科大学 整形外科学講座 定 拓矢

3. 研究の目的と意義

この研究では、思春期特発性側弯症に対する術後疼痛管理として IV-PCA を使用した患者さんの術後疼痛の経過や副作用、安全性について調査し、より良い術後疼痛管理につなげることを目的としています。

4. 研究の方法

5. に示す情報を対象の患者さんのカルテから収集し、IV-PCA を用いた術後疼痛管理の有効性と安全性を評価します。

5. 使用する情報

本研究では以下の情報を使用します。

年齢、性別、身長、体重、BMI、診断名、手術日、固定椎間数、手術時間、出血量、術後疼痛評価、初回歩行日、入院日数、IV-PCA 使用状況、IV-PCA に関連する副作用

6. 情報の管理責任者

奈良県立医科大学 学長

7. 研究期間

研究機関長の実施許可日～2029 年 3 月 31 日

8. 個人情報の取り扱い

対象となる患者さんの個人情報は厳重に管理し、利用する情報等からはお名前や住所等、個人を特定できる情報は削除し、研究番号に置き換えて使用します。また、研究成果を学会や学術誌等で公表する際も個人を特定する情報は公表しません。

この研究は奈良県立医科大学 医の倫理審査委員会の承認を受け研究機関の長の許可を得ています。これらの研究において、ご自身の提供された情報等について問い合わせたい、もしくは利用を拒否したいなどの場合には下記にご連絡ください。

この研究が終了した後も、この研究で集めた情報は、研究終了後又は最終公表日から 10 年の間、奈良県立医科大学整形外科学教室の研究室で適切に保管します。保管している情報を将来ほかの研究に利用する場合には、その研究について改めて倫理審査委員会の審査と承認を受け、研究機関の長の許可を得てから利用します。その際には、研究の内容をホームページなどでお知らせし、患者さんがご自身の情報を利用しないよう申し出ることができる機会を設けます。

9. 研究に関する情報の公開について

研究成果は学会および医学雑誌などで公表する予定です。その際、患者さん個人が特定される情報は一切公表しません。

10. お問い合わせ先

奈良県立医科大学附属病院 整形外科 定 拓矢

住所：奈良県橿原市四条町 840 番地

電話：0744-22-3051

e-mail：sadatakuya@naramed-u.ac.jp